

平成 31 年度協働事業実施に係る  
提案の審査について

答 申

平成 31 年 3 月 22 日

水戸市協働推進委員会

## 目 次

### 平成 31 年度協働事業実施に係る提案の審査

審査結果及び全体講評 . . . . .	1
各事業の概要及び委員会意見 . . . . .	2
選考過程・基準 . . . . .	8
委員名簿 . . . . .	9

# 平成 31 年度協働事業実施に係る提案の審査

## 審査結果及び全体講評

### 【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

#### 推薦する事業

- 国田地区の名所・史跡探訪を通じた魅力再発見プロジェクト
- 要配慮者のための災害時避難訓練 茨城県水戸市モデル ～たすけてパスポートプロジェクトから～
- 映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りを語る会
- 水戸の緑と野鳥の森整備事業
- 親子で楽しむ森あそび 森っこ
- 茨城総合物産音楽フェスティバル 2019 ～地産地消推進プロジェクト～

### 【 全体講評 】

平成 31 年度水戸市協働事業に対しては、6 件の協働事業が提案され、3 月 4 日に公開プレゼンテーションが実施された。このうち、前年度からの継続が 2 事業、新規事業が 4 事業であった。新規事業の中には、子育てや要配慮者支援、在宅医療・介護・看取りなど、地域福祉を取り巻く様々な課題に取り組む事業が提案され、社会的なニーズの高まりを感じた。

提案のあった事業のうち、「国田地区の名所・史跡探訪を通じた魅力再発見プロジェクト」、「水戸の緑と野鳥の森整備事業」については、これまでの取組の成果を十分に検証し、市担当課とともに、更なる内容の向上を図っていただきたい。また、4 年目以降の事業継続に向けた、新たな組織とのつながりづくりや、財源の確保などについても、情報収集に努め、運営体制や収支計画の検討にも取り組んでいただきたい。

新規事業については、事業初年度を迎えるにあたり、提案団体と市担当課とのコミュニケーションを密にし、事業目標や課題の共有に努め、連携・協力を図っていただきたい。

プレゼンテーションの場においては、市民活動団体として感じた地域の現状や課題、それに取り組むべき事業内容や目的などを明確に伝えることが求められる。地域の課題に日々向き合っている市民活動団体にとって、その課題を可視化させ、わかりやすく発信することは、活動への応援や協力につながるものであることから、発信方法についても検討いただきたい。

今後も、様々な分野において、市民活動団体と市が、お互いの特性を生かしながらパートナーとして事業に取り組むことで、相乗効果が生まれ、市民と行政との協働によるまちづくりが更に発展していくことを期待したい。

## 各事業の概要及び委員会意見

提案事業名	国田地区の名所・史跡探訪を通じた魅力再発見プロジェクト	推薦する (270点)
提案団体 国田歴史学習会	市の担当課 市民生活課	
事業の概要	<p>地域の人々によって守り継がれてきた歴史性のある文化遺産を、地域が主体となって掘り起こし、地域の魅力発見につなげるとともに、名所・史跡等の選定過程やウォーキング事業による地区間交流を通じ、近年希薄化しているコミュニティの復活を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国田地区の名所・史跡等の再発見</li> <li>2 歴史講演会の開催</li> <li>3 名所・史跡等を結ぶウォーキングコースの設定とマップ作成</li> <li>4 「田園ウォーク in 国田 ～自然と歴史を訪ねて～」の開催</li> </ol>	
委員会意見	<p>歴史、自然、文化継承といった視点から、地域が主体となって、魅力向上に取り組む本事業は、様々な可能性を持った大変有意義な事業である。</p> <p>2年目においても、引き続き、学習会や環境整備などに取り組むものと思われるが、本事業の趣旨である近年希薄化する地域コミュニティ意識の醸成といった目的に沿って活動を続けていただきたい。また、事業の成果を高めるためにも、他地区からの見学者に対応できるようマップづくりなどにも取り組んでいただきたい。</p> <p>将来を担う地域の子どもたちにとっても、歴史への愛着と誇りが持てるよう、その仕掛けづくりが必要である。小学生の参加や、案内板へのふりがなの配慮など、工夫を重ねながら、地域の学校との連携・協働による取組についても、今後、検討していただきたい。</p> <p>本事業が地域活性化へのモデル事業となることを期待する。</p>	

提案事業名	要配慮者のための災害時避難訓練 茨城県水戸市モデル ～たすけてパスポートプロジェクトから～	推薦する (283点)
提案団体 特定非営利活動法人発達支援グループ風の子	市の担当課 防災・危機管理課 障害福祉課	
事業の概要	<p>要配慮者への理解や要配慮者自身の自助意識の向上のため、要配慮者を取り巻く支援者、関係機関、学識経験者等による「たすけてパスポートプロジェクト」を結成し、要配慮者向けの災害時避難訓練やワークショップを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者向け避難訓練の実施</li> <li>2 ワークショップによる啓発活動</li> <li>3 たすけてパスポートプロジェクトの実施</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、災害時の要配慮者への理解や要配慮者自身の自意識向上のため、災害時避難訓練やワークショップの開催、「たすけてパスポートプロジェクト」の結成など、大変意欲的な取組である。</p> <p>要配慮者支援に向けた水戸市モデルを築いていくためにも、外部への発信は特に重要である。また、本事業目的の達成には、要配慮者という当事者側に対してばかりでなく、それを支える側へのアプローチも重要なことから、ワークショップについては丁寧に実施していただきたい。経費面では、事業展開の可視化のための缶バッチやシールの作成について、今後、検証が必要だと感じた。</p> <p>「たすけてパスポートプロジェクト」をはじめとする本取組により、要配慮者を取り巻く支援者や関係機関等の輪が広がり、災害時の要配慮者支援を考えるきっかけとなるよう期待する。</p>	

提案事業名	映画ケアニンを鑑賞して、在宅医療・介護・看取りを語る会	推薦する (277点)
提案団体	茨城県ケアマネジャー協会水戸地区会	市の担当課 高齢福祉課
事業の概要	<p>映画「ケアニン～あなたでよかった～」を鑑賞し、医師・訪問看護師等を交えた語る会の実施等を通じ、市民が、医療・介護の専門職から直接情報を得ることにより、自分事として終末期を想像でき、自分らしい最期を選択できるきっかけづくりとすることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 映画上映会と「在宅医療・介護・看取りを語る会」開催</li> <li>2 「在宅医療・介護・看取りを語る会」開催</li> </ol>	
委員会意見	<p>高齢化社会を迎え、医療や介護、さらには終末期への関心が高くなっていく中、映画というものをきっかけにすることは、分かりやすく、有効である。より多くの人に、本事業に関する情報が届くよう広報活動にも重点を置いていただきたい。</p> <p>一方、若い世代にとっても、重要なテーマであることから、事業の広がりについても今後検討していただきたい。</p> <p>本事業をきっかけとした市民と医療・介護関係者、関係機関等のネットワークの構築が、地域包括ケアづくりの一助となることを期待する。</p>	

提案事業名	水戸の緑と野鳥の森整備事業	推薦する (275 点)
提案団体 特定非営利活動法人エコ・グリーンいばらき	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>水戸市栗崎町，百合が丘町，六反田町などの自治会・町内会や子ども会など 13 の関係団体との協働連携により，同町周辺にまたがる平地林を整備し，不法投棄を防止するとともに，市民が身近な緑を感じることができるよう，地域の環境保全と自然保護を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平地林の整備 立木の除間伐，下刈り，枯損木の除去，苗木の植樹，散策路の整備</li> <li>2 学習会等の開催 自然観察会，昆虫の森の創造等</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は，平地林の整備を進めることで，現地を市民が緑に親しむことができる場所とすることを目的としており，自然保護に対する継続的な取組が必要である。積極的な情報発信を行うなど，より多くの市民や関係機関を巻き込んでいく視点も重要である。</p> <p>現在，整備している平地林については，周辺にトイレがないほか，広大で，仕切られていないため，安全面において不安な点がある。市民みんなが気軽に立ち寄れる場所となるよう，今後，検討いただきたい。</p> <p>本事業は，本提案制度の実施としては，平成 31 年度で最終年度となる。里山保全に対する公益性・公共性を皆で考えていくとともに，運営経費の見直しを進めながら，効率的な事業運営にあたっていただきたい。</p>	

提案事業名	親子で楽しむ森あそび 森っこ	推薦する (307点)
提案団体 森っこ	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>乳幼児とその保護者が森を含む身近な自然の中に気軽に集まることができるよう、「森っこ」活動を実施する。子どもたちは五感を使った成長をのびのびと育み、大人には心を開放し元気になってもらうとともに、様々な自然体験を通じ、身近な自然、草花、生き物を大切に思う豊かな心や自然と共生する小さな芽を育んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「森っこ」活動 春を探してみよう、アートさがし、秘密基地など年22回</li> <li>2 安全講習会受講など</li> </ol>	
委員会意見	<p>子どもも親もわくわくするような企画に満ちるとともに、発信力にも優れ、大いに楽しみな事業である。</p> <p>提案団体においては、本事業を通じて、身近な自然を活かした市民活動や里山保全に取り組む団体とつながりをつくるなど、更なる事業展開を図っていただきたい。</p> <p>また、本事業をきっかけとし、森林公園の魅力や楽しみ方などについて、提案団体ならでは視点で発信するとともに、市担当課においては、森林公園で実施されている既存の事業において、提案団体の持つアイデアやノウハウを活用し協働で実施するなど、協働による取組の効果を十分に発揮していただきたい。</p>	



提案事業名	茨城総合物産音楽フェスティバル 2019 ～地産地消推進プロジェクト～	推薦する (282 点)
提案団体	茨城総合物産音楽フェスティバル 2019 実行委員会	市の担当課 農業技術センター
事業の概要	<p>いばらきの豊かな「食」と、音楽の素晴らしさを同時に体験していただく「茨城総合物産音楽フェスティバル」。本事業では、「食」のエリアにおいて、開催地である水戸市の地場農産物PRに関する取組とも連携を図り、フェスティバルを通じた地場農産物の魅力向上、消費拡大、地域農業、地産地消への理解促進を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水戸の地場農産物推奨</li> <li>2 PRブースの設置</li> <li>3 情報発信 など</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業を実施するにあたっては、(株)ブックエースの協力体制が築かれており、運営面での安心が持てるものである。</p> <p>事業の目的である地産地消推進に向けた様々な施策に取り組み、その効果をフェスティバル全体に反映していくことが望まれる。</p> <p>フェスティバルの開催にあたっては、飲食店への出店呼びかけを行うことになるが、地産地消の推進のためには、それら飲食店を支える農業生産者に目を向けることも重要である。そうした取組の充実など、来場者に対する効果的な啓発活動についても検討いただきたい。</p> <p>今回の協働による取組が、フェスティバルの更なる発展につながることを期待する。</p>	

## 選考過程・基準

### 【 選考過程 】

協働事業提案書をもとに、3月4日に実施された公開プレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審査において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審査した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むに当たって、提案団体と市の担当課がさらに協議を深めるべき事項について意見した。

### 【 選考基準 】

提案書類と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点した。各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。

また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる216点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

なお、公開プレゼンテーション中に、一時退席した委員については、公平性の観点から当該提案事業の審査は行わず、他の8名の委員による採点の平均点を加算して、得点を調整することとした。

### 審査項目及び審査の視点（40点満点）

審査項目	審査の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益，社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し，お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

## 水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等	組織区分	備考
委員長 金本 節子	茨城大学 名誉教授	学識経験者	
副委員長 大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・ コモンズ 事務局長	NPO代表	
水嶋 陽子	常磐大学 人間科学部教授	学識経験者	
片山 昭男	水戸市ボランティア連絡協議会 企画委員長	ボランティア代表	
大竹 隆志	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	コミュニティ代表	
鹿倉よし江	水戸女性会議 副会長	女性団体代表	
石川 浩之	水戸商工会議所 事務局長	関係団体	
前田 拓哉	水戸青年会議所 理事長		
井上 綾子		公募市民	
羽石 英司			